

eポートフォリオシステムの開発

Development of e-portfolio system

氏名 ○川口 拓郎, 熊谷 侑哉, 藤原 拓郎, 石橋 亮太, 工藤 雅弥, 水尻 裕人, 内山 武尊, 西原 慎也
Name Takuro Kawaguchi, Yuya Kumagai, Takuro Fujiwara, Ryota Ishibashi, Masaya Kudo, Yuuto Mizushiri, Takeru Uchiyama, Shinya Nishihara

テーマ - Theme

学生の皆さんが成果物を蓄積し、振り返りや外部への公開を行うことをサポートするためのeポートフォリオシステムを開発しています。

We are developping e-portfolio system. Students accumulate, look back and publish deliverables. This system support such a student's activity.

プロジェクトの概要 - Outline of this Project

目的 - Purpose

本プロジェクトの目的は、未来大のeポートフォリオシステムに必要とされる機能を発見し、システムの実働するプロトタイプを開発・運用して、未来大の学生・教員・職員からフィードバックを得ながら継続的に洗練・改良していくことです。

前年度に高度ICT演習で開発したTell-ePortシステムを土台として開発を進めていきます。分散アジャイル開発を行い、実際に動くシステムを作っていきます。

The purpose of this project is to find functions which is necessary for e-portfolio system in Future University, and to refine and improve continuously with feedback from students, teachers and office workers.

We are developping it, is based on Tell-ePort system which developped at the advanced ICT seminar, in progress.

役割分担 - Division of roles

一人が複数の役割を受け持つことを前提とし(いわゆる π 型人材)、グループ分けは行いません

We don't assign roles because our project has a premise that one person has more than one role.

最終成果物 - Final deliverables

- ・ペーパープロトタイプではなく実働するプロトタイプ
- ・eポートフォリオシステムのマニュアル
- ・利用者からのフィードバック
- ・使用した技術やサービスをまとめたドキュメント

- ・ Not paper prototype but prototype that can run effectively.
- ・ Manual about e-portfolio system.
- ・ Feedback from users.
- ・ Document that collect technology and service.

活動成果 - Results of an Actibity

前期では、開発に必要とされる技術習得を目的とし活動しました。後期では、eポートフォリオシステムの開発に着手し、ステークホルダーである大場みち子高度ICTコース長とヒアリングを行いながら実装を進めました。成果として、ステークホルダーの要求を満たす機能を洗い出す事ができました。基礎となる部分の実装は完了しました。

At the first term, we acted as purpose of technical acquisition. At the last term, we started to develop e-portofolio system, and carried out while hearing with Mayor of Michiko Oba advanced ICT course. As the result, we were able to find out functions of her's needs. Then, we implemented functions of base of e-portfolio system.

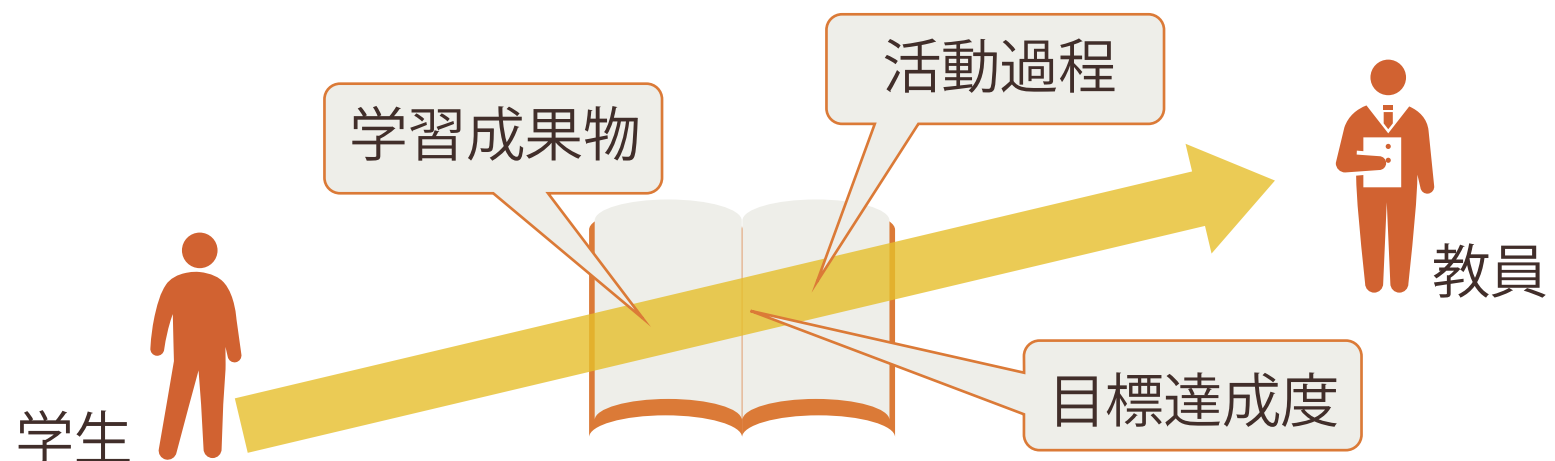
今後の展望 - Future Vision

eポートフォリオシステムの本稼働に向けて実装を進めていきます。具体的には1月中に総合テストを行いシステムがマニュアルどおり動作することを確認します。4月頃には納品可能状態まで仕上げます。また、2月に行われるプロジェクト学習課外発表会に参加し本プロジェクトに対するフィードバックを頂く予定です。

The purpose of this project is to deploy e-portfolio system. Specifically, we carry out a general test by the end of January, and confirm to operate e-portfolio system according to documentation. In April, we complete to develop e-portfolio system. In addition, we participate to extracurricular presentation in Akihabara, and will get evaluation of project from audience.

背景

公立はこだて未来大学では高度 ICT 演習やプロジェクト学習といった PBL が行われており、講義を受けることで学習していく通常の授業とは違って参加者それぞれの主体性を重要視する学習の場である。しかし現在、そのような学生の能動的な学習に対して教員が評価する仕組みが無い。学生の自主的な取り組みに対して、適切なフィードバックを与えるためのシステムが必要である。



e ポートフォリオ：

ポートフォリオとは、個人やグループの学習の過程や成果物をまとめた書類のことであるが、それを電子化したものを特にeポートフォリオという。電子化することで、学習者のデータの編集や統合、検索などを容易にし、スムーズな学習支援を行うことができる。

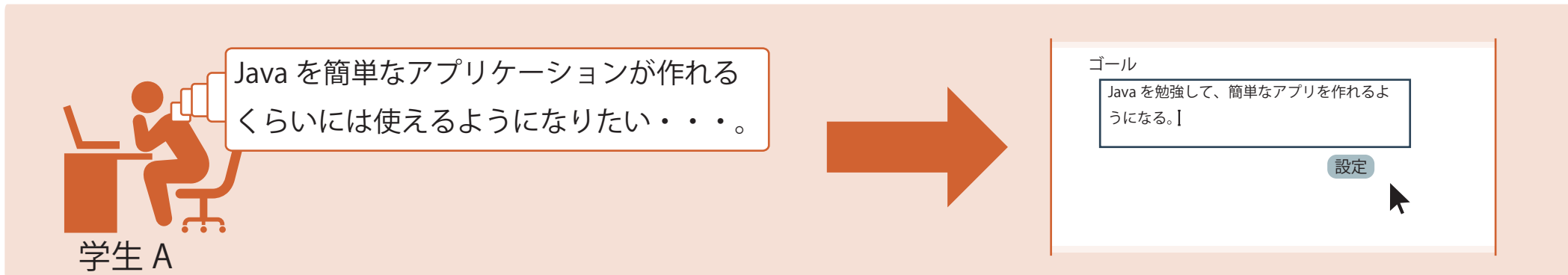
能動的な学習の成果を教員に評価してもらう仕組みづくり

e ポートフォリオシステム 「miite (ミーテ)」

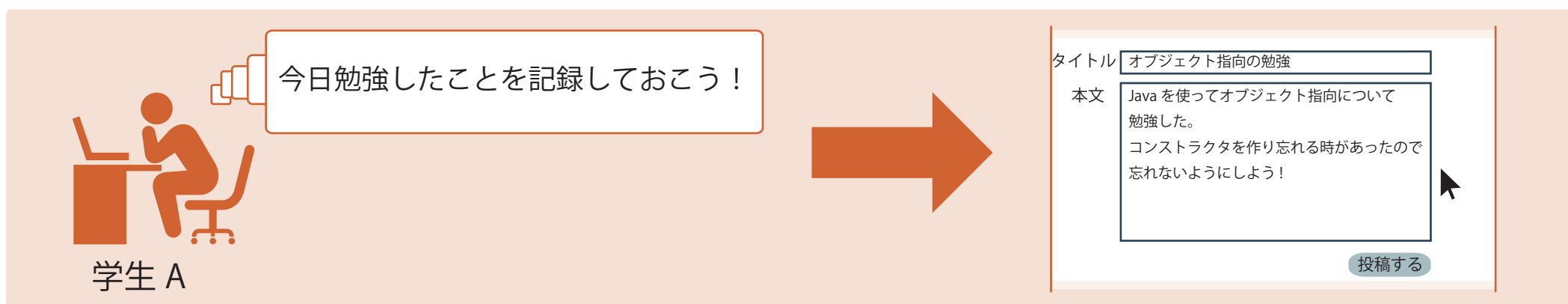
- 学生は **miite** トップページでグループメンバーの活動状況が把握できる。



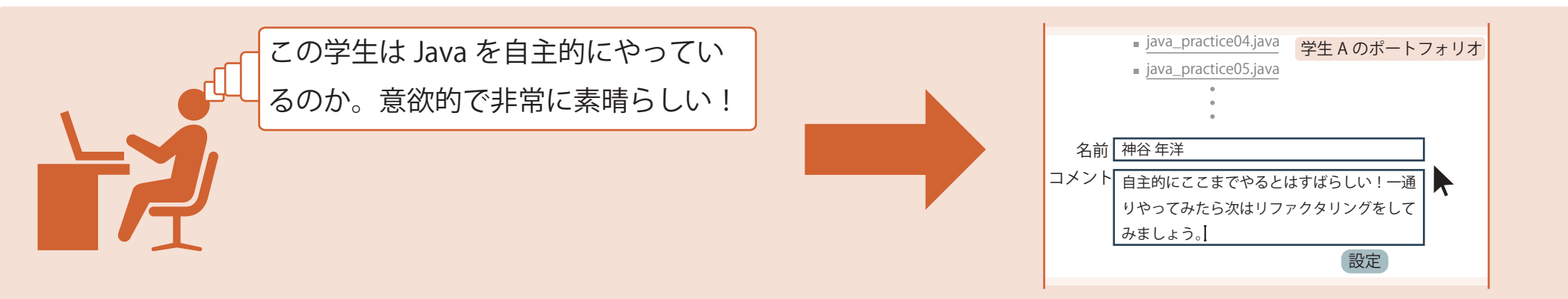
- 学生は **miite** の個人ページで、ゴール（目標）の設定をすることができ、その進捗や達成度合いを記録し振り返ることができる。



- 学生は **miite** で個人・グループ単位で e ポートフォリオの作成ができる。



- 閲覧者は **miite** で公開されている e ポートフォリオに対して、コメントを残すことができる。



スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
ヒアリング										
技術検証										
画面設計										
技術習得										
実装										
発表準備										
運用										